

磐梯山登山道の状況

【テーマ】 磐梯山の自然保護の状況、各登山道の危険箇所、要整備箇所、要望箇所、要継続監視箇所などの登山道の状況の報告。

【目的】 磐梯山は磐梯朝日国立公園内にあり、深田久弥氏の日本百名山にも数えられている。また、日本ジオパークにも認定された。

年間約3万人の登山者が訪れる山であったが、4年前の東北大震災の年は大幅に減少した。特に学校登山が極端に減少したが、年々回復に向かっているため、震災前に戻るのも近いと思われる。このため、訪れる登山者に安全に楽しんでもらうために、登山道の道標や看板、危険箇所の整備が必要である。また、貴重な高山植物の保護及び近い将来を見据えた地形の変化等の監視も重要な課題である。

以上のことを踏まえて観察した。

【観察日】 6月3日（猪苗代コース）、 6月16日（渋谷コース）、
7月22日（八方台コース）、 7月31日（赤埴林道コース）、
8月5日（川上コース）、 8月19日（翁島コース）、
9月16日（川上コース）、 10月7日（赤埴林道コース）、
10月29日（猪苗代コース）、 11月1日（翁島コース）、
11月5日（渋谷コース） 11月13日（八方台～川上コース）

【調査者】 江花 俊和（猪苗代山岳会、日本山岳会、HAT-J、いなわしろ伝保人会）

【結果】 結果の具体的な内容については、3ページ以降に記載しています。

自然保護	No. 1、2	携帯トイレ回収ボックス、トイレブース
	No. 3	旧トイレ跡
	No. 4	沼ノ平及び稜線までの高山植物帯
	No. 5、6	お花畑の踏込跡
	No. 7	黄金清水下のミヤマキンバイ等の繁茂地帯
	No. 8	コウリントンポポの繁茂

危険箇所	No. 1	火口の土石流
	No. 2、3	土砂崩れ（渋谷コース）
	No. 4	岩とロープ（翁島コース）
	No. 5	天狗岩直下（翁島コース）

要整備箇所（登山道）	No. 1、2、3	ぬかるみ（八方台コース）
	No. 4	木道傾斜（八方台コース）
	No. 5	ルート不明瞭（渋谷コース）
要整備箇所（道標等）	No. 1、3	道標、看板の傾き（猪苗代コース）
	No. 2、4、6、7	老朽化（猪苗代、八方台、川上コース）
	No. 5	破損、落下（川上コース）
	No. 8	表示未訂正（山頂）
表示等の要望箇所	No. 1、2	賽ノ河原（翁島コース）
	No. 3	天狗岩（翁島コース）
	No. 4、5	遥拝所跡（翁島コース）
要継続監視箇所	No. 1、2	火口の植生と繁茂
	No. 3、4	火口の土石流
	No. 5、6	火口中央部の変化
	No. 7	大石の位置ずれ（翁島コース）
	No. 8	土砂地の変化（沼ノ平）
No. 9、10	火口壁の階段	
登 山 口	No. 1、2、3	八方台口、川上口、翁島口
そ の 他	No. 1、2、3	石碑（2合目、磐梯明神、三合目）
	No. 4	三角点
	No. 5	中ノ湯跡
	No. 6	イエローフォールの岩

- 【考 察】**
1. 県外の山を歩いて感じることは、磐梯山は道標、橋、足場などの登山道の整備が良くない。有名な山で多くの登山者が訪れることから、整備を急がなければならないと思う。火口壁の階段は平成26年に設置。道標7ヶ所の立替えは今年に実施されたが未実施箇所がある。なお、各登山道の刈払いは毎年7月から8月にかけて実施されている。
 2. お花畑の立入禁止の箇所への踏み込み跡が数箇所見られるので、自然保護上これらを含めて対策と見直しが必要であると思う。
 3. 携帯トイレは大分普及したものの、登山道周辺にまだ跡が残る。各登山口に簡易トイレの設置が必要と思う。また、携帯トイレを宿泊施設に置いてもらうなど普及へのPRが望まれる。
 4. 火口については、噴火後の地形や植生の変化にも目を向けていかなければならないのではないかと思う。